

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	10
2. 大学等名	横浜国立大学
3. テーマ	II. 学修成果の可視化
4. 取組学部等名	教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（305文字）
<p>本プログラムは、我が国が目指す大学教育改革の方向性を参照しつつ、本学の大学憲章（実践性、先進性、開放性、国際性）と教育目標（人材養成像）を踏まえ、「授業設計方法と成績評価の改善」を大学教育改革の基盤（ベース）と位置付け、その教育改革の両輪として学部教育の内部質保証システムを牽引していく「YNU学士力とYNU就業力」の可視化、その原動力となる全学的な「YNU教学マネジメントチーム」の組織化にある。これら可視化された教育成果を学生ポートフォリオに組み入れ、「学生自らが学修成果を把握し、次の学びを主体的にデザイン」できる行動様式に変容させ、「グローバルに活躍できる創造性ある専門職業人」の養成機能が抜本的に強化される。</p>	